

# 令和7年度研究外部評価結果の概要

## 1 概要

県民ニーズや産業界の高度化、多様化するニーズを踏まえ、かつ官民の役割分担の中から効果的・効率的な試験研究活動を行っていくことが重要となっている。これらを実現するため、研究課題の設定から研究成果に関し、適切な評価を実施する仕組みを整備することが必要である。

石川県工業試験場では、石川県試験研究評価指針（平成16年3月26日策定、平成26年9月1日改訂）に基づいて作成した試験研究評価に関する実施要領に従って、研究開発事業の活性化と成果普及の促進および客観性の確保を目的に研究外部評価を実施した。

## 2 開催日

部会	開催日	研究テーマ数			
		事前評価	中間評価	事後評価	計
機械金属部会	令和7年10月1日（水）	1	0	2	3
電子情報部会	令和7年9月30日（火）	2	0	0	2
繊維生活部会	令和7年10月1日（水）	1	0	2	3
化学食品部会	令和7年10月7日（火）	1	0	1	2

## 3 評価方法

事前に開催した研究内部評価委員会において、研究外部評価の対象テーマを決定した。専門的立場からの有益な評価を得るため、昨年と同様に研究テーマを機械金属、電子情報、繊維生活、化学食品の4分野に分類し、それぞれの分野別の評価委員会で外部評価を実施した。各評価委員会では、研究テーマ毎に事前に委員に送付した研究評価調書と説明資料に基づき、当日、研究テーマの主担当者がプレゼンテーションを行い、質疑応答により評価した。

なお、採点方法は、研究テーマ毎に研究の必要性、計画の妥当性、目標の達成度、成果の発展性などの評価基準を設定し、各評価基準で5点法による評点を行ったあと、合計点を算出し、全委員による平均合計点を最終的な評価点とした。また総合評価については、最終評価点をA～Eの5段階（事前評価）、A～Dの4段階（中間評価）、A～Cの3段階（事後評価）に区切り、優劣を判定した。さらに数値的評価以外に委員からの助言や意見はコメントとしてまとめた。

### 1) 5点法による評価

5：極めて優れている      4：優れている      3：普通      2：要改善      1：劣っている

### 2) 総合評価（各基準の5段階評価の合計点により判定）

#### ・事前評価（20点満点）

A：優先実施（20～18点）

B：実施（17～14点）

C：改善後実施（13～10点）

D：必要性低（9～8点）

E：必要性無（7点以下）

#### ・中間評価（20点満点）

A：優先継続（20～17点）

B：継続（16～12点）

C：改善後継続（11～8点）

D：中止（7点以下）

#### ・事後評価（15点満点）

A：予想以上（15～11点）

B：目標達成（10～6点）

C：達成不十分（5点以下）

#### 4 評価結果

令和7年度は、事前評価5テーマ、事後評価5テーマを対象とした。

事前評価の対象となった5テーマのうち、3テーマはB評価となり、実施が適当であると判断された。残りの2テーマはC評価であったが、その後に計画を改善し、評価委員全員の確認を得られたため、実施することとなった。

事後評価の対象となった5テーマのうち、4テーマはA評価となり、予想以上の成果が得られたと評価された。残りの1テーマはB評価で、目標を達成できたと評価された。

各研究テーマの外部評価結果の詳細については、個別表に記載した。各委員のコメントについては研究担当者にフィードバックし、それぞれのコメントへの対応を含めて再考する機会を与え、令和8年度の研究実施内容、及び研究のフォローアップへ反映させることとする。

#### 5 研究外部評価対象テーマ一覧

令和7年度の評価の対象となった研究テーマと評価結果は、以下のとおりである。

(テーマ名をクリックすると、委員コメントが表示される)

##### ○事前評価

整理番号	研究テーマ	評価点	評価
25-P1	溶接構造物の品質向上および工程短縮を実現するデジタルものづくり技術の開発	15.7	B
25-P2	多視点映像を用いた動作分類AIによる作業記録自動化の研究	13.0	C
25-P3	単眼視ピッキングと作業エリア広範囲化を実現するロボット制御技術の開発	13.8	C
25-P4	漆工芸における糊製造技術の開発	16.6	B
25-P5	金沢酵母を用いた清酒の高品質化に関する研究	15.7	B

##### ○事後評価

整理番号	研究テーマ	評価点	評価
25-C1	AI・IoT技術を活用した工作機械の高度化研究開発事業	12.0	A
25-C2	加熱交換用ラティス構造の設計技術に関する研究	10.7	B
25-C3	天然由来材料を活用したFRP製造技術の開発	11.4	A
25-C4	デジタル技術を活用した機器操作部の使いやすさ評価手法の研究	12.0	A
25-C5	金箔の加工性と接着性に優れる部材の開発	11.1	A

## 6 研究外部評価委員名簿（五十音順）

### 1) 機械金属部会

氏名	所属・役職
奥村 善雄	大同工業(株) 執行役員 安全品質保証本部長
金子 義幸	高松機械工業(株) 技術部専任次長
小林 忠	かがつう(株) WP 本部統括副本部長 理事
島田 裕大	コマツ産機(株) 開発本部 大型機械開発部 部長
諏訪部 仁	金沢工業大学 工学部先進機械システム工学科 教授
関 啓明	金沢大学 理工研究域フロンティア工学系 教授
多田 宏行	中村留精密工業(株) 技術本部 ヘッド
中村 翔太	(株)東振精機 取締役社長
南条 吉保	フジタ技研(株) 執行役員 研究開発部 部長
西納 幸伸	澁谷工業(株) 専務執行役員 プラント生産統括本部本部長、プラント技術本部本部長

### 2) 電子情報部会

氏名	所属・役職
飯山 宏一	金沢大学 融合研究域 融合科学系 融合研究域長・教授
大音 洋一	E I Z O(株) 執行役員 サステナブルデザイン&開発プロセス統括部長
窪田 伸悟	アール・ビー・コントロールズ(株) 開発本部 部長
酒元 一幸	北菱電興(株) 取締役 企画本部長
板橋 竜也	石川サンケン(株) 代表取締役副社長
丹 康雄	北陸先端科学技術大学院大学 副学長・情報化統括責任者・教授
藤基 慶明	(株)P F U 基盤技術統括部 部品 LCM 部長
宮本 郁久	(株)石川コンピュータ・センター 取締役
野口 啓介	金沢工業大学 工学部 電子情報システム工学科 教授
山本 忠輝	発紘電機(株) 電子工場 設計部 部長

### 3) 繊維生活部会

氏名	所属・役職
鶴沢 潔	金沢工業大学 大学院工学研究科 教授
大宮 久佳	(株)ムツミテキスタイル 代表取締役社長
小田 宗一郎	サンコロナ小田(株) 取締役
金法 順正	小松マテーレ(株) 技術開発本部 技術開発本部長代理
鹿野 和宏	カノー(株) 代表取締役社長
高納 伸宏	津田駒工業(株) 代表取締役会長兼社長
馬場 貢	馬場化学工業(株) 代表取締役
日南 尚之	(株)日南彩漆堂 代表取締役
宮本 徹	丸井織物(株) 代表取締役会長
若子 倫菜	金沢大学 理工研究域 機械工学系 准教授

### 4) 化学食品部会

氏名	所属・役職
上田 恒一	(株)スギヨ 開発本部 執行役員 開発本部長兼商品部長
大嶋 俊一	金沢工業大学 バイオ・化学部 環境・応用化学科 教授
川崎 修	イソライト工業(株) 七尾工場長
北野 高広	テックワン(株) 事業統括部 取締役 事業統括部長 兼 研究センター長
小柳 喬	石川県立大学 生物資源環境学部 食品科学科 准教授
坂田 信和	(株)エオネックス 環境事業部 事業部長
三田 英則	(有)三田製陶所 代表取締役
滝本 幹夫	ニッコー(株) 執行役員 研究開発本部長
野村 直也	天狗中田産業(株) 取締役 製造部長
前之園 信也	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス系ナノマテリアルデバイス研究領域 教授
松井 圭三	(株)福光屋 取締役相談役